

# 感染症 ひとくち情報

## 乳児ボツリヌス症とは？



2017年 3月 14日  
東京都健康安全研究センター

### ● 乳児ボツリヌス症とは

乳児ボツリヌス症は、1歳未満の乳児がボツリヌス菌の芽胞を含んだ食品を食べて感染する病気です。

1歳未満の乳児の腸内細菌の生態系は、ボツリヌス菌が定着してしまう状態になっていることがあるため、大人が食べて健康に影響がない食品でも、乳児が食べると病気になることがあります。



### ● 1歳未満の乳児に与えてはいけない食品とは

ボツリヌス菌の芽胞による汚染の可能性がある食品には、ハチミツ、コーンシロップ、洗浄や皮剥きが不十分な野菜を使った野菜ジュースなどがあります。

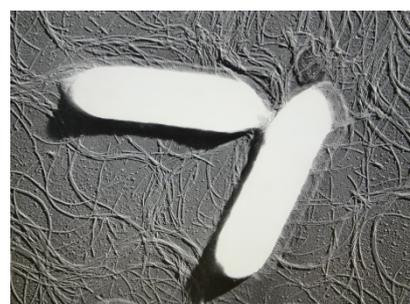
1歳未満の乳児に与えてはいけません。

### ● ボツリヌス菌の芽胞とは

「芽胞（がほう）」は菌が熱や乾燥に対し高い抵抗性を持つ状態になることで、加熱しても死滅せずに、温度が下がると再び菌が増殖できる状態になります。一般的な食品の加工で行われる加熱では芽胞を殺すことはできません。

ボツリヌス菌は土壌にいる菌で、その芽胞は環境中の様々な場所にあるので、食品によってはボツリヌス菌の芽胞が含まれていることがあります。

一般的な食品の加工では、芽胞を殺すことはできないので、芽胞が含まれている食品を食べさせないことが大切です。



ボツリヌス菌の電子顕微鏡写真

東京都感染症情報センターの「ボツリヌス症」のページもご参照ください。

ボツリヌス症 東京都

検索

